

簡単紹介「AI の利用と文献ナビゲーターの使い方」

AI でレポートは楽になる？

答え：「考えるのが楽になる」だけです

生成 AI が広がり、「AI に聞けば何でも分かる」と思っていませんか？

でも、大学のレポートで大切なのは答えではなく、

- どんな問い合わせたか
- どんな資料を使ったか
- どう考えたか

です。

AI は「代わりに書く人」ではありません

AI はあなたの代わりにレポートを書く存在ではありません。

一緒に考える相談相手です。

たとえば：

- 「何から調べればいいか分からない」
- 「テーマが広すぎるので、もっと絞り込みたい」
- 「キーワードが思いつかない」

こんなときに、AI は力を発揮します。

文献ナビゲーターって何？

文献ナビゲーターは、

東北学院大学図書館が作った、文献探し専用の AI ツールです。ChatGPT の無料版のアカウントを持っている方なら誰でも利用できます。

- 話しかけるだけで
 - 問いを一緒に考えててくれる
 - どんな本・論文を探せばいいか教えてくれる
 - 検索用のキーワードを整理してくれる
 - でも、レポート本文は書きません
-

使い方はとてもシンプル(3ステップ)

STEP1：チャット仮面で「メニューを出して」と入力する。

次のメニューが出てきますので目的に合わせて選んでください。

1. **テーマ探索・文献検索ガイド**: 「何を書けばいいか決まらない」という初期段階から、具体的な研究課題の設定までトータルで支援します。
2. **資料の紹介(レベル別)**: いきなり難しい本を読んでも挫折しがちです。今のあなたの知識レベルに合った資料(新聞～専門書)を提示します。
3. **情報検索ツールの使い方ガイド**: OPAC(蔵書検索)、CiNii Research(論文検索)、ジャパンナレッジ(事典類)など、大学で必須のツールの使い方を具体的に教えます。
4. **文献検索の基礎を学ぶ**: 効率的な検索のコツや、キーワードの選び方を体系的に学びます。

STEP2:相談する（メニュー1：テーマ探索・文献検索ガイドの場合）

「〇〇について書きたいけど、よく分からない」とそのまま聞いてOK。

テーマが絞り切れてなければ、例えば自分が調べたい分野(例：ジェンダー、日本経済、金融政策など)などでも良い。

STEP2：資料を選ぶ（メニュー2：資料の紹介(レベル別)の場合）

新聞・新書・論文など、レベルに合った資料を教えてくれます。オンラインで入手できる資料にはリンクがついています。

STEP3：図書館で確かめる（メニュー3：情報検索ツールの使い方ガイド）

オンライン上で入手できなかった資料はOPACやCiNiiを使って、所在を確認します。

大事なこと(ここだけ覚えて)

- AIが言ったこと=正解、ではありません
 - 最後に判断するのはあなた
 - 困ったら、図書館のカウンターへ
人間の司書も、あなたの味方です。
-

注意:「情報の検証」「情報利用の責任者」はあなた自身です

文献ナビゲーターは、Web 検索で実在を確認した資料を提示する仕組みを備えていますが、最終的な信頼性のチェックは欠かせません。

- 1. 実在の確認:** AI が言った資料が、本当に OPAC や CiNii で見つかるか。
- 2. 根拠の確認:** その著者は専門家か？ 発行元は信頼できる組織か？
- 3. 対面相談:** AI の回答に疑問を感じたら、迷わず図書館のカウンターへ。司書と一緒に考え、確かな情報への道筋を案内します。

文献検索ナビゲーターを使ってみる
(ChatGPT の無料版以上が必要です)

